

第2次糸島市長期総合計画策定における高校生未来会議“いとしま”

～みんなで語ろう！

糸島の魅力について～



第1回（平成30年8月17日）、第2回（平成30年8月21日）ワークショップ まとめ

# 1. ワークショップの概要

## (1) ワークショップの目的

糸島市では、平成30年度～平成32年度にかけて第2次糸島市長期総合計画を策定します。

計画の策定にあたって、これからの糸島市の姿を高校生と考えるために、「ワールド・カフェ」方式による語り合いを中心としたワークショップを実施しました。

また、策定過程自体をPRすることにより、まちの魅力・取り組みを内外に発信する「シティプロモーション」の視点、人の持つ「創造」の力で地域が抱える複雑な課題の解決に挑む「ソーシャルデザイン」の活動をふまえたワークショップとしました。

## (2) ワークショップのテーマ

高校生が想う“糸島の魅力、未来の姿”



## (3) ワークショップのプロセス

全2回のワークショップにおいて、各回で明確に検討内容を設定し、開催しました。

実施については、「語り合い」を中心とした「ワールド・カフェ」方式と呼ばれる手法を用いました。

## 2. 結果のまとめ

### 第1回

#### 特に多かった意見

【糸島市の“いいところ”(強み・魅力)】

自然が豊か(海・山)  
外国人の観光客が多い  
第一次産業が盛ん  
地域の人や近所の人とのつながりが深い  
インスタ映えスポットがある  
伝統行事がある  
食べ物が美味しい  
観光スポットが多い  
人々があたたかい  
おしゃれなカフェがたくさんある  
夕日がきれい



【糸島市の“もっとよくしたいところ”(弱み・改善点)】

移動手段が少ない(バスが少ない。電車の本数が少ない。)  
遊ぶ場所が少ない(映画館、公園、お店など)  
交通量が少ないところや住民が少ないところは街灯が少ない  
夜中のバイクがうるさい  
高齢者の買い物が不便  
治安をもっと良くして、安心して遊べる環境を作る  
働ける場所が少ない  
農業の後継者がいない  
小学生が少ない

## 第2回

---

### 特に多かった意見

#### 【強みを生かした取り組み】

海や山、さまざまな自然を生かしたツアーを行う

糸島の自然環境に関心を持ってもらい移住者の増加を図る

山や風景がキレイな場所に展望所をつくったり、マリンスポーツが体験できる場所をつくり、自然を体感できる観光地とする  
森の中や自然が体験できるようなアスレチックパークの設置

外国人の観光客が増えているため、宿泊施設をつくり、より深く、長く糸島を体験、体感してもらう

SNS（ツイッター、インスタ）を利用して、糸島の観光地や特産品を紹介する

糸島のPR動画を作成し、魅力を発信する

インスタ映えで若い世代を呼びこむ

農業体験を行い、農業に関心を持ってもらう

#### 【弱みを克服する取り組み】

働き口が少ないため、自然を生かした企業を増やす

コミュニティバスがあまり浸透していないため、もっと利用してもらえるようにする

交通の便が悪いため、糸島を循環するバスを増やして、バス停を増やせば、車が無くても気軽に移動できるようになると思う

耕作放棄地を上手く活用して減らす為、新しく農業を営もうと考えている生産者等に対して講習会を開き、魅力を発信する

若年層の人口を増やすため、公園や保育園等を整備し、子育てのしやすい環境づくりを行う

子どもが減少しているため、子育ての悩みとかを相談できるイベント等を行い、子育て支援を充実する

コンビニ、駅、海にゴミが落ちているため、観光客や旅行者がよく来るような場所から徐々に美化活動を行う

空き家や放棄されている土地があるため、使われていない土地や空き家を宿泊施設等に活用する

交通の便が悪かったり、道が狭いところがあるため、中心部以外の道路の整備が必要

### 3. 当日の様子





